

ひふみのあゆみ 2014年9月2日号

ひふみ投信 2014年8月度 ご報告書

レオス・キャピタルワークス株式会社
 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第1151号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
 お客様の資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。
 2014年8月の運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告いたします。

ひふみ投信の基準価額について

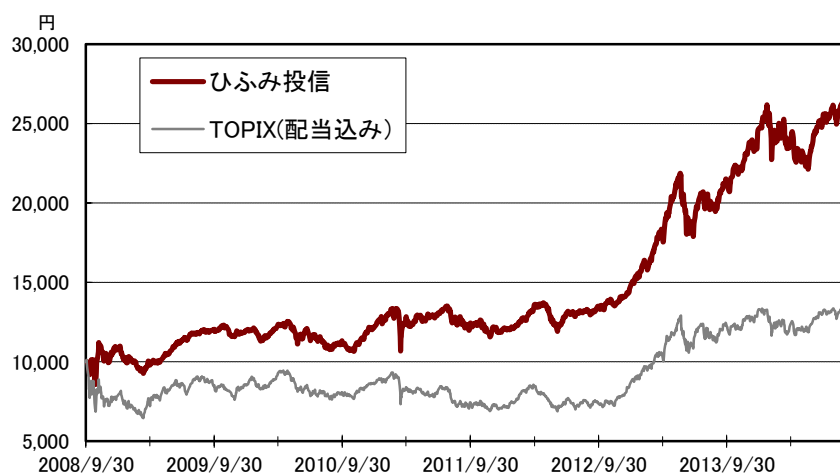
（基準日：2014年8月29日）

基準価額（1万口当り）	26,320 円
純資産総額	143.81億円
受益権総口数	5,463,994,553 口

基準価額とは「ひふみ投信」の値段のことです。

お客様の保有口数合計です

■ 基準価額の推移



基準価額は、信託報酬（年1.0584%（税抜年0.980%））を控除した後の数値です。

【注】TOPIX（配当込）は、当初設定日前日である2008年9月30日の値（1311.57）を10,000として指数化しています。

TOPIX（配当込）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。
 TOPIXとは東証株価指数のことで、東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額（株数×1株当り時価）の合計を指数化して算出され、日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。そして、TOPIX（配当込）とは、配当収益を考慮して東京証券取引所が算出・公表している指数です。

■ 運用成績について

	基準価額のあゆみ [騰落率]	TOPIX（配当込） 騰落率
過去1カ月	1.69%	-0.86%
過去3カ月	11.74%	6.59%
過去6カ月	7.40%	6.68%
過去1年	34.28%	17.84%
過去3年	105.02%	77.13%
設定来（※）	163.20%	32.19%

※ 設定来の、基準価額の騰落率は当初募集価額（10,000円）から2014年8月29日まで、TOPIX（配当込）騰落率は当初設定日前日である2008年9月30日から2014年8月29日までにおける数値です。

支払い済分配金	
第1期（2009年9月30日）	0円
第2期（2010年9月30日）	0円
第3期（2011年9月30日）	0円
第4期（2012年10月1日）	0円
第5期（2013年9月30日）	0円
設定来合計	0円

ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

ひふみ投信マザーファンドの資産内容について

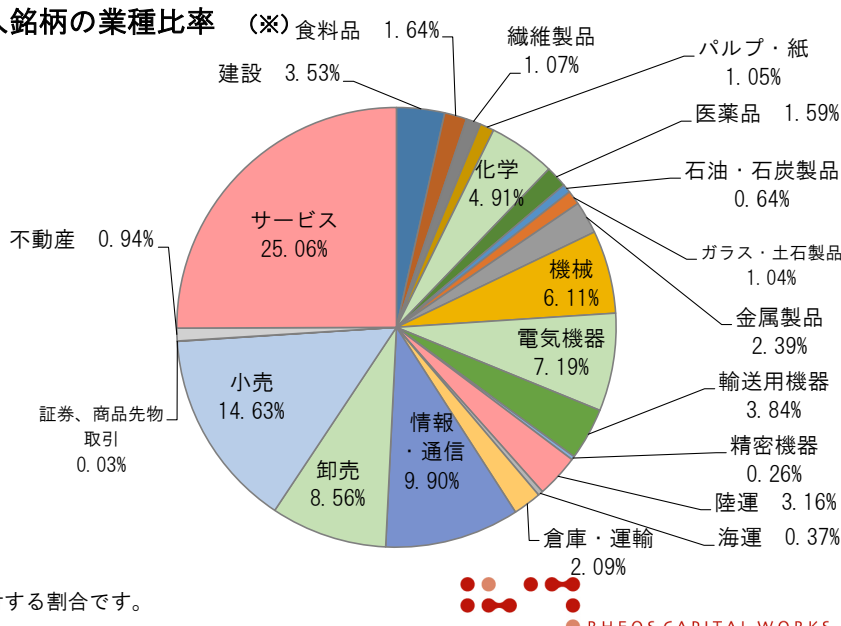
（2014年8月29日時点）

ひふみ投信は、ひふみ投信マザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式等に投資しています。

■ 資産の内訳

純資産総額	291.59億円
国内株式	93.24%
海外株式	0.00%
預金その他	6.76%
組入銘柄数	98銘柄

■ 組入銘柄の業種比率



■ 市場別の構成比率 (※)

東京一部	76.30%
東京二部	6.01%
マザーズ	7.78%
JASDAQ	9.91%

(※) マザーファンドの「株式資産」を100として、それに対する割合です。

■ 組入比率の高い上位10銘柄 (組入銘柄数：98銘柄)

	銘柄コード	銘柄名	比率	業種	市場	銘柄紹介
1	3076	あい ホールディングス	2.68%	卸売	東京一部	オーナーの佐々木秀吉氏の経営手腕が秀でていて、事業ポートフォリオが安定成長分野で構成されている。
2	9616	共立メンテナンス	2.30%	サービス	東京一部	寮とホテルの運営会社。「ドリーミン」ホテルは2020年のオリンピックまで外国人観光客の恩恵を受ける。
3	2445	エスアールジータカミヤ	2.25%	サービス	東京一部	建機リースや足場などのレンタル・販売を行う関西の企業。創業者の高宮家のリーダーシップで業界をリード。
4	8876	リロ・ホールディング	2.14%	サービス	東京一部	企業福利厚生総合アウトソーサーで、企業が福利厚生を外部委託化する動きで恩恵を受ける。
5	9058	トランコム	1.94%	倉庫・運輸	東京一部	物流センター受託、物流情報サービス、生産請負の3本柱で成長をしている最先端物流企業。
6	7599	ガリバーインターナショナル	1.93%	卸売	東京一部	中古車買取りの最大手企業。消費税率引上げの影響を受けつつも長期的成長力は高い。
7	9419	ワイヤレスゲート	1.87%	情報・通信	マザーズ	少数精鋭・超高効率な高速通信サービス企業。ネットの低価格化の流れは同社には追い風。
8	6902	デンソー	1.86%	輸送用機器	東京一部	国内最大の自動車部品メーカー。電気自動車化の流れでも万全。
9	2181	テンプホールディングス	1.85%	サービス	東京一部	人材派遣、紹介の総合企業。人手不足が叫ばれる中、日本の成長を人材の供給で支える企業。
10	9830	トラスコ中山	1.81%	卸売	東京一部	中山社長が率いる、機械工具などの卸売業。日本のものづくりを影で支える地味で地道な真面目企業。

(※) 組入比率はマザーファンドの「純資産総額」に対する割合です。

◆ 8月の投資環境（株式市場等での出来事）について

8月の株式相場は、引き続き外部環境を睨んだ展開に終始し、月末の日経平均株価は前月比1.3%安の15,424.59円と4カ月ぶりに反落しました。また東証1部1日平均売買代金(立会内のみ；概算値ベース)は1.7兆円と、根強い地政学的リスクや新たな手掛り材料難で引き続き閑散でした。

8月の日経平均株価は、アルゼンチンのデフォルト(債務不履行)やポルトガル大手銀行への増資命令が嫌気されて軟調に始まりました。またイスラエル、ウクライナの地政学的リスクが再び高まった結果、日経平均株価は月初から下落を余儀なくされると、8日には米大統領がイラク空爆を承認したことを受けてリスク回避の動きが加速し、日経平均株価は14,753.84円と約2か月ぶりの安値水準まで下落しました。8月第1週の外国人投資家による日本株(現物&先物)の売り越し金額は5か月ぶりに1兆円を超えました。

しかし、空爆規模が限定的であったことからリスク回避の動きが長引くことはなく、日経平均株価は翌営業日に急反発を演じると、その後も地政学的リスクへの取り組みが徐々に評価され、月半ばにはジリ高歩調を辿りました。

月後半に入っても、ウクライナ軍がロシア軍を攻撃する等、地政学的リスクが完全に払拭されることはありませんでしたが、市場の関心は徐々に米国の金融政策動向にシフトしました。そうした中で発表されたFOMC(米連邦公開市場委員会)議事録では、労働市場の改善を背景に利上げの協議開始が明らかとなりました。その結果、高金利需要から対円で米ドル買いが優勢となり、米ドル/円は22日に約4か月ぶりの水準まで円安が進行しました。但し、日経平均株価は9日連騰を演じていたこともあって、その後は月中高値圏での小動き商状を余儀なくされました。更に月末にはウクライナ懸念が再燃したことで手仕舞い売りが優勢となり、月末の日経平均株価は15,424.59円と前月比で小幅ながら反落に転じました。

◆ 8月の運用ならびに今後について（運用や見直しについては、市場動向等の変化によって、変更することがあります）

8月の日本の株式市場は、アルゼンチンの債務不履行問題、FRBの早期利上げ観測、ウクライナ情勢などの地政学リスクといった海外要因の影響を受けながら変動し、TOPIX（配当込）は結果的に前月比マイナス0.86%と下落して終了しました（詳しくは、前頁の「8月の投資環境（株式市場等での出来事）」について）をお読みください。

そのような中でひふみ投信は、株式相場の変動からお客様の資産を「守りながらふやす」運用を徹底し、おかげさまで8月27日には基準価額の最高値（※）を更新し、市場がマイナスの中でもプラスの成績を残すことができました（※2014年8月末時点）。

運用チームではパフォーマンスの向上に寄与するような新しい銘柄の発掘も継続的に行なっていますが、現在の組入れ上位銘柄は7月末からそれほど変化していません。

ただ、8月は、日本瓦斯（8174）など短期的な株価上昇率の高かった銘柄群の株数を減らし、下落率の高かったエスアールジータカミヤ（2445）などの銘柄は株数を増やしました。

9月以降の株式相場は、日本も米国も、市場が高値圏にある中で上下に変動する可能性が高いと予想しています。米国の景気や株式市場に対しては強気にみえていますが、市場参加者には先行きに対して不安視をしている投資家が少なくありません。過去の例をみると、そのような時に大暴落は起きにくく、いわゆる「懸念の壁を登る」という状態で、不安視をしている投資家が多いほど買い上がる動きが少ないので株式市場はゆっくりと上昇していくことが多いようです。

一方で日本については消費税率引き上げ後の需要の縮小が顕著で、景気も腰折れ懸念が広がりつつあります。そのような中で、安倍政権は難しい舵取りになることが予想されます。実際には景気を回復させるような劇的な政策は打ちづらく、日本の大型株については上昇し難い状況が続くでしょう。小型株にとっては比較的優位な展開が続くと予想しているので、小型株のウエイトを高位に維持しながら景気変動の影響を受け難い企業群に投資していこうと考えています。

（ひふみ投信 運用責任者 藤野英人）

組入比率など運用についての記述は、すべてひふみ投信マザーファンドに関するご説明です。

◆ ひふみ投信の概要について

※詳しくは投資信託説明書（目論見書）をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日（休業日の場合、翌営業日）	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金（解約）単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。 ひふみ投信は、税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。	

◆ 「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります（**株価変動リスク**）。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります（**為替変動リスクとカントリーリスク**）。したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。この他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

◆ お客様にご負担いただく費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.0584%（税抜年0.980%）
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.0054%（税抜年0.005%） （なお、上限を年間54万円（税抜50万円）とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。）
その他の費用	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

当資料のお取扱いにおけるご注意

- ・本資料は、レオス・キャピタルワークス（以下「当社」といいます。）が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
- ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（目論見書）の内容を必ずご確認ください。投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】レオス・キャピタルワークス(株)コミュニケーション・センター

電話：03-6266-0123（平日9時～17時）メール：cc@rheos.jp

